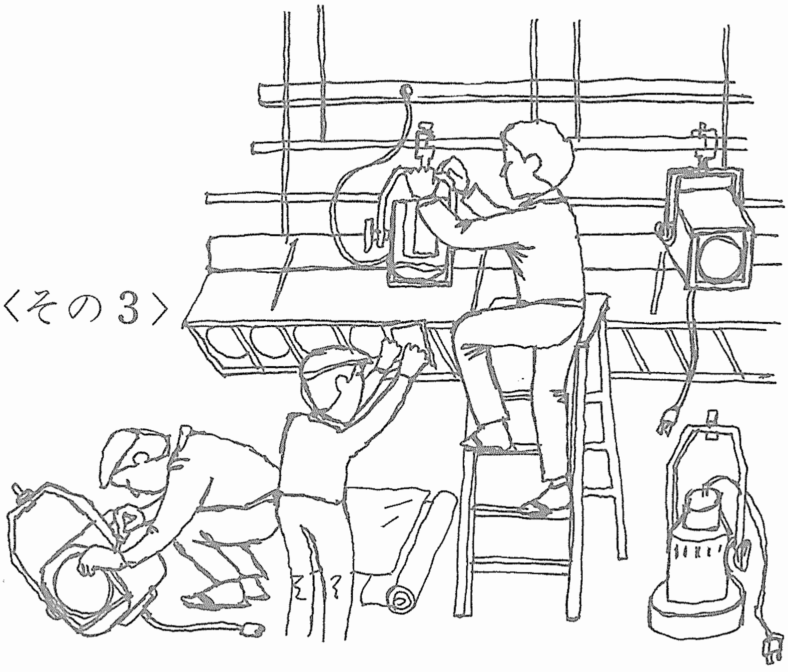
# MARUMO LIGHTING NEWS

4月1日発行〈年4回発行〉
46—2号 No.12

春爛漫……そんな古い言葉がぴったりの季節に日本列島も覆われました。満開の桜、早咲きのチューリップ、そして蓮華草や桜草がまだまだ畑のあちこちを色彩っている所もあるでしょう。甦える光と大地……新年とはまた違った意味でのスタートラインにたって、新しく芝居の道に入る人も、そしてすでに入っている人も共に前進してください。マルモライティングニュースも創刊以来通算12号、皆様の御好評をいただいております。今回はより、より一層の内容の充実を目指して、従来の12ページより16ページに増ページする事になりました。よろしく御愛読ください。

〈想い出のチェーホフ〉民芸 「テアトロ」提供

# ステージ係の仕事について〈その3〉



サンケイホール

岩品　健介

今度は、配光のことを少しお話ししましょう。広義の配光とは、照明のすべてを言い現わしているものですが、ここでは、ステージ・係の仕事の領分としてのサスの当て方、ステージ・スポットの当て方の意味にしておきます。

さて、普通、ステージ・スポットの場合、ハイ・スタンドはそのままで、ロー・スタンドは、中のパイプを伸ばして、丁度、頭より少し高めのところに、スポットをのせます。頭より低目にすると、出演者の影が、袖にいる時から、舞台に流れ、わずらわしい事があるからです。

それに、出演者の顔に当たる光が、少し、高めから流れる方が、より自然にみられるからでしょうか。とも角、スポットの首を水平に近くして、決して床を舐めないようにするのです。そして、フォーカスの大きさも、舞台の中央から向うの人間一杯に当たるようにするべきです。無理をして、スポットのすぐ手前の出演者に当てようとすれば、相当大きいフォーカスに、拡げなければならないからです。

床上を這うモダン・ダンスの場合は、プランナーの方から下向きにするように注文もあり、また、″存在を照らす……〃という照明の目的から、スポットはフロアに向けて当てるようになるのです。

芝居やオペラの場合も、セットに当てる時は、指示のあった場所に、スポットを向けるのです。その場合、パネル全体に当てるよりも、特に強調するべきところに焦点をもって行き、そこからフォーカスを拡げて、美的に当てることを忘れないことです。美的というと、甚だ抽象的ですが、黄金短形が、幾何学的に理想的な短形だといわれているように、つまり、見た目に美しい当たりをいうのです。

仮花道にスポットを当てるにしても、フォローしない場合は、花道全体に当てることが無理であれば、その中央から、拡げてゆき、

花道全体の八分か七分位までが当たるように、もってゆくのです。日舞等の場合の袖の身切り（パネル）にステージ・スポットが当たるようになるが、その時も、パネルの上部を、三部か四部位あけて当てるようにするのです。

ステージスポットは、この場合、踊って・いる人に当てているのだが、その光は、やはりパネルにも当たるので、そのパネルに当たる光の部分が、小さすぎても、大きすぎても、舞台の効果を減じることになるからです。

すなわち、バランスが必要になってくるのです。丁度、図案や絵画に構図が必要なように、舞台にも、部分々々に部分の構図が、全体には全体のバランスのよくとれた構図が必要になっているのです。

音楽に、不協和音からなる現代抽象音楽というものもあるけれど、それにも、やはり法則があり、不協和音という和音があるのです。

さて、床上を甜める場合も、技術的には、舞台を四等分にして、手前$\frac{1}{4}$の線の部分から下部のエッヂを揃えるようにして当て、水平の場合は、その反対に、光の下部のエッヂが上手は下手側、下手は上手側の$\frac{1}{4}$の線に揃うように。

しかも、先程述べたように、人間一杯当たるようにフォーカスをきめて流すのです。バレエの場合は、殆んどこのようにすればよいでしょう。

つまり、日本人の感覚からすれば、七分三分の割りが、ある意味で、美的にうつるからかも知れません。しかし、セットによって、その力のバランスによって、多少のずれがあるのはいうまでもないのです。ともあれ、ステージ・スポットの当て方等は、誰か絵のうまい人が、一寸素描をして、何種類かの型に分けて図示されるならば、それこそ、一目でわかるような気がするのです。

終りにひと言添えたいことは、ランマ吊りの場合のコードを投げる時は、コードの色別か、ビニールテープの色別で識別すれば、例えば昼間の＃45と夜の＃78あるいは＃35を回路の間違いなく結線することができる筈です。

また、暗転中のキャプタイヤコードにも、ビニール・テープを一巻・二巻・三巻と巻きつけて区別すると、盲人の点字のように、手で触れただけで回路（ポケット番号）が判るようにしておけば、色別にするまでもなく、完全暗転の舞台転換でさえも、間違いなく目的のスポットに結線できるわけです。

それから、必ず、場面図を大きな紙に写して、ステージ係の誰もがすぐに見られる場所に張り出しておくことも、舞台転換の際の間違いや、思い違いをなくす上に役立つでしょう。

綱元の綱には、やはり、ビニール・テープを巻きつけて、タッパの高さをキメる目印にすれば、暗転中のエリヤ・バトンの位置も、ボーダーの位置も、如何ようにも揃えることができるのです。

要は、どうすれば、より早く、より正確に、より気持よく仕事ができるか、稽古中に秘策を練ることです。舞台は、一人でする仕事ではないのですから、チームワークと連係作業が要求されます。特に、大道具係と照明係との呼吸があった時、どんなに忙しい転換でも、スムーズに行なわれることでしょう。演舞場の例は、かって共に仕事をしたことがあるだけに、うなづけるものがありました。

そろそろステージ係の項も終りに近づいたようです。心構えと言っては恥かしいのですが、まとめにしてみたいと思います。

〝照明とは、存在を照らすもの〟という定義づけをして、ここまで話をすすめてきました。〝存在を照らす〟ということは、存在を生かすために当てるという意味なのです。

そして、舞台では、すべてが美的でなければなりません。それ故に、舞台照明は、あくなき美の追求でなければならないのです。＜私は、クソ・リァリズムに反対です。＞よく、ステージ係が、袖で、話をしていたり、舞台に夢中になって、スポットが、あらぬ方向にはずれていることがあります。それは、ステージ・スポットが、当てるべき存在を照らしていないことになるのです。

そして、その主体となるべき舞台芸術の有様と、演出者の意図を知り、無論、照明プランナーの意図を知ったならば、その一部分を預っているステージ係は、ステージ・スポットを、何うしたら、その意図通りの〝存在を照らすこと〟ができるかが、自然にわかってくる筈です。

私のいう〝存在〟とは、この場合、そのものが、あるべき姿であることをさしています。舞台上の小道具である長火鉢は、演出上あるべき姿であるべきところにある筈です。そして、そこで行なわれる芝居は、最終的に芝居の目的に向って、あるべきように行なわれているのです。だから、ステージ係も、その場面を、あるべきように生かしてゆくには、どうすればよいかを思うのです。

そうすれば、ステージ・スポットがはずれていたり、火鉢の灯入が点かなかったりはしないでしょう。少くともステージ係のミスで、そのようなことは許されないのです。ステージ係は舞台上で行なわれている芸術存在に向って、恒にその存在を照らさなければならないのです。

そう、大事なことを一つ忘れていました。ステージ係は、スポットの球切れがあり、新しい球を入れ替える際には、必ず、ボデーの中と、レンズを拭いて下さい。少しでも熱をもったり、コネクターの欠けているのがあれば、これも舞台の暇をみて直して下さい。

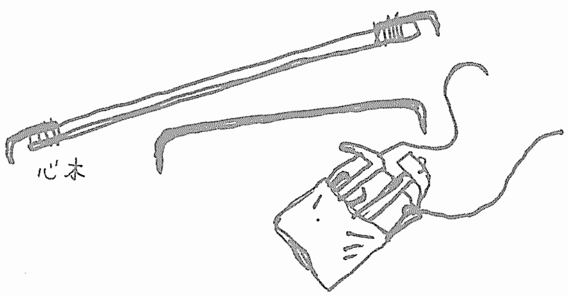
仕込みの際に、モーガル等のいかれた不良のスポットがあれば、その時は、はねておいても、少し暇があれば直して下さい。そのためにも、ペンチとドライバーと手袋（軍手）は、必ず携帯して下さい。

最近は、商売道具をもたない人が多くなりました。もたないどころか、のっけから購ったことのない人もいるのです。そういう人は、灯入等のつくりものがある場合、これは、仕込みの仕事ではないと思っているのでしょうか。お互いに、自分の仕事は大切にしたいものです。

ステージ係は、このように、初歩から、ステージ責任者まで、やればやる程、味のある仕事場と言えるでしょう。

**初歩の舞台照明の手びき**
中部舞台テレビ照明家協会発行
頒価　1,100円

# 舞台用語について〈その5〉




柘植　貞輝

**㊲ 丸　物——まるもの**
ひらめに対して立体的な大道具の総称である。廻り舞台に一ぱい飾りにして廻して舞台替りを見せる場合、特に丸物でなければならない。丸ものを使った舞台装置は俳優にとっても、照明にとっても矛盾が生じない。

**㊳ 半　丸——はんまる**
観客に見える方だけの面を立体的に作り、反対側は手をぬいて作る。ことを半丸と云う。

**㊴ 袖　——そで**
つきだしともいい、上手下手の舞台裏をかくすために出す張物又は切出しのこと。

**㊵ 見切れる——みきれる**
舞台装置を飾りつけたとき、観客席から上手下手の舞台裏が見えることを云う。これは「そ　で」の位置が悪かったり、寸法の見込みちがいが原因であることが多い。

**㊶ 背　景——はいけい**
舞台正面いっぱいに風景を描いた張物、布バックをいい、古くは遠見と云う。

**㊷ 二　重——にじゅう**
二重舞台を組み上げるのに使う定式の台のこと。平台（ひらだい）とも云う。
これには定式寸法として９×３、６×３、６×６、９×６（単位尺）等があり、高さは４寸（或は３寸５分）である。

**㊸ 走り込み——はしりこみ**
観客には見えないところだが、俳優の出入りのために二重屋体の襖、障子などの出入口や、上手下手の見切りの裏に屋体と同じ高さの二重を置く。これが走り込みである。
出入りの多い場合や、大勢の出入りする場合は充分広く場所をこしらえて置く必要がある。

**㊹ 一　段——いちだん**
二重舞台へ上る足がかりなどに用いる。
寸法は２×６（単位尺）で高さ７寸。
一段の別名を白禄と云う。歌舞伎では舞台の屋内でも屋外でも使用出来るようにびやくろくで塗ったのでその名が出た。

**㊺ 褄　——つ　ま**
屋体の横面、すなわち正面に直角に組まれる張物を云い、襖や障子が取付けられる場合も同じである。

**㊻ 鏡　——かがみ**
床の間の正面、窓、襖、障子、扉などが開けられたとき、舞台裏が見えないように開口部後方に立てる張物を云う。
かがみはその開口部の説明になる張物だから注意して作らなければならぬ。

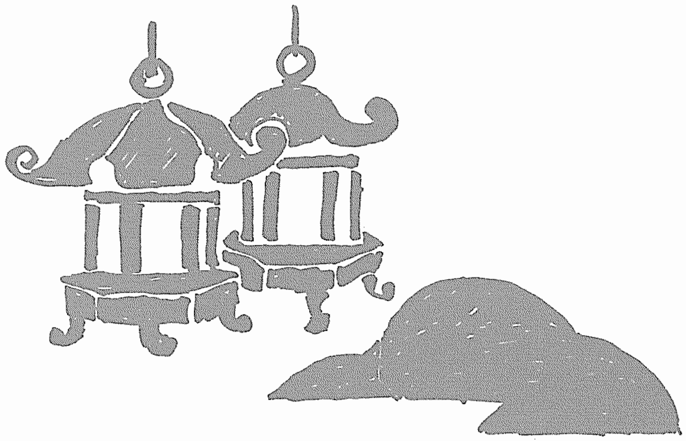
**㊼ 蹴込み——けこみ**
屋体の「うま」をかくすために使う。即ち二重のふさぎである。また、段の前面のことを云う言葉でもある。

**㊽ 見込み——みこみ**
出入口、窓等に厚味をつける場合がある。この厚みのことを見込みと云う。

**㊾ 心　木——し　ぎ**
日本独特のもので、張物、切出し等を建て込む場合の支え木に使う。張物の芯から支えることが確実な方法であるという技術上経験的なものから生れたような名称。しぎを「支木」と理解されてはいても「心木」というのが本当であると知る人は少い。「心木」は「棒心木」といって両端に大きな金物の鉤が付いた棒である。

**㊿ 金心木——かなしぎ**
かすがいとしぎの中位の大きさで、全部鉄で出来ている。立木とか小さなもの、或は建て込むためにはどうしても心木が観客に見えるような場合などに使用する。いわば、かすがいの棒の部分が長くなったものと思えばよい。

# 彩光



## ―裏方の日々のあれこれ

柘植　貞輝

「火事は江戸の華」という言葉があります。人情ばなしなどで講釈師などが話すときは、まるで江戸ッ子達が火事好きで火事を喜んでいたようなしゃべり方をしますが、あれは火事騒ぎへのあこがれではなく、明るさへのあこがれ、喜びだったのではないでしょうか。夜になれば灯芯を油にしませた灯具だけが頼りの生活だった江戸市民達にとって、一歩外へ出れば屋外は尚更暗い。暗さは不安を呼び気分は陰惨になる。そんな時「火事だ！」とくれば、パット明るく、飛び出して来る人々の顔も互いによく見えた。人々は明るい気分になったのでしょうか。

明るい電灯の下で生活している現在の人々には理解出来ない明るさ美しさ。これが江戸市民に「火事は江戸の華」と云わせたのだと思います。ローソクで夜を過すのは大変贅沢な生活だった時代なのですから。

光は善で、暗は悪という思想は、日本の神話がそうだし、旧約聖書でもそうだし、ペルシャでも同様です。光こそ善であり、光明、希望だったのです。

「籠灯の大臣」と云われた平重盛が京都東山の麓に48間の御堂を建て、１間毎に１体の仏像をおき、夜になると夫々に一つづつの灯籠を吊り、ここに奉仕する美女達に明りを点けさせ、御堂の周りを仏の讃歌を唄いながら歩かせたと云います。

暗の中でほの明るい灯籠に輝き、優しい歌声の聞える風景を思い浮べて下さい。その美しさ、優雅さは、まさに当時の人に極楽浄土を思わせたに違いないでしょう。

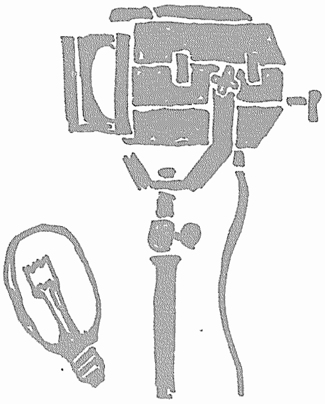
光そのものも色光も、人に与える感覚の豊かさ、心に与える明るさと暖かさへの讃称か、物理的に暗い夜に、封建制の下で町民達もそれを支配する武家階級も、平等に扱われる火事の威力。その火事の平等性への讃歌として「火事は江戸の華」と云ったのかも知れません。

ともあれ、火の色の美しさを舞台上で照明で見せようとする試みで、一番成功しているのは、舞台全面を火炎にして見せる技法だと思います。スモークを援用すると部分的な火でも、かなり効果的に作れますが、火災の美

しさと大空を焦がす迫力の表現は前者には及びもつきません。
　但しこのとき登場している俳優には充分な光量が投射されていないと、背景の火災が主役になり、ほんとうの主役である俳優が霞んでしまう恐れがあることを忘れないようにしましょう。

# 生甲斐のある仕事

若尾綜合舞台研究所
若尾　隆子



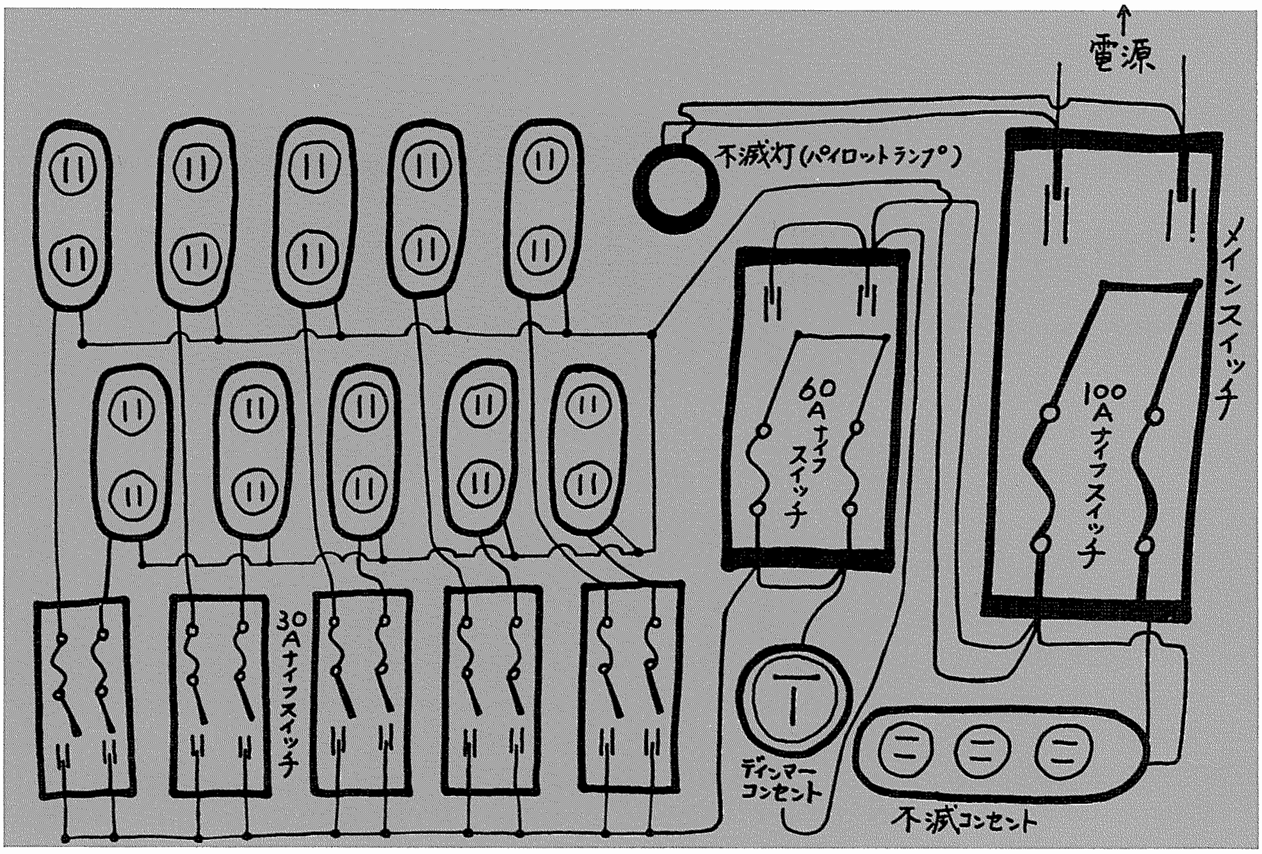
　30年前の照明について書いて欲しいと云われて、「まあ失礼な、そんなオバアチャンぢゃア」と考えたら昭和13年2月東宝へ入社、何と30年前でありました。少女歌劇が好きで、好きで毎日見ながら仕事が出来る、こんな倖が又とあろうかという状態でした。劇場に入ったのですから器具は自分の専用の様なもの。その頃は土、日曜がマチネーで2回公演、あとの日は夜だけ1回、それでも入り時間は正午頃だったでしょうか。1週間に2回ステージのゼラチンの点検、フットライトを上げて中に入っている花吹雪のかき出し、球ぎれの点検など。自分のスポットの手入れは毎日揮発油で拭いて油の布で拭きその上をから拭きして、シャッターの掃除も何しろ時間があまるので、まめにしたものです。ストンストンと片手で閉まる様にしておかないと、相棒がお休みの時には1人でアーク3台、ランプ1台、吊鐘（今のフロントのSRの様に吊ってある）3台の色替えをしながら群舞やソロ、ラインダンスを追うのですから、自分が困ってしまうので念入りにしました。照明の仕事は自分達でも大事にしましたし廻りからも大事にされました。今頃若い人達と話をしますと大変気の毒に思うのは、出し物自体が照明を大事にすることが少なく、本気になって研究したいという気を起させる様な内容のあるものが少ない事です。気のゆるせない緊張の連続の毎日であったから仕事の仕甲斐もあり張合のある生活が送れたのだと思います。かっては歌謡ショーなんかと云っていたのが、今では余程張合のある仕事になっている様です。これは文化がいい加減にされて表面的な形で面白さを追って行く傾向の表れではないでしょうか。内容のある仕事をし、そこに生甲斐を感じられる、そういう文化を育てる為にも私達は政治に無関心であってはいけないと思います。30年前に照明を始めたオバアチャンの繰言と云わずに一遍じっくりと話し合いたいものです。

次号、彩光の〆切は5月20日です。どしどし御投稿下さい。採用の分には粗品を進呈します。

# 15万円で出来る舞台照明設備〈その2〉

舞台照明家
唐見沢　行京

## 手製・配電盤の作り方




### 電源について

配電盤を作る前に、貴方の使う場所、の分電盤を見てみましょう。

舞台の裏とか、舞台の袖にあれば結構です。雨天体操場と兼用なので、舞台から一番遠い正面入口の所に点滅スイッチと一緒にありますと言うのが一番始末が悪いのです。

会場の照明を手近で点けたり消したり出来ないと言う事は、プログラムを入れ替えなければならないという事もあります。

これは、施工主、貴方が学生さんなら、学校長または、教育委員会、会社なら社長さんを恨んで下さい。

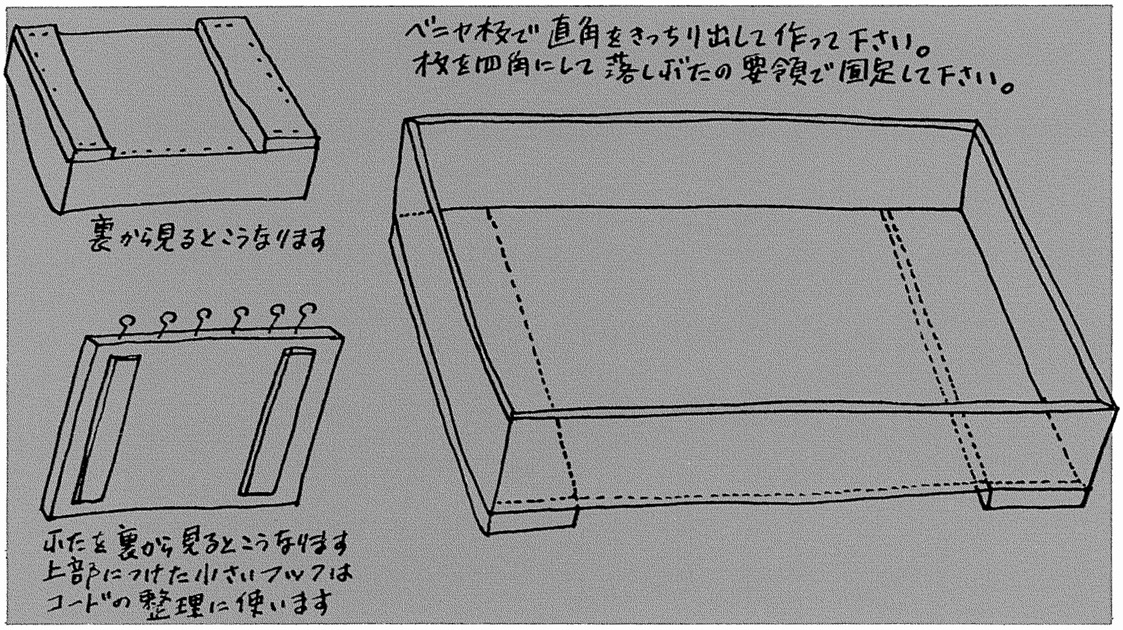
あるいは、偉一い設計の先生かもしれませんネ。〈照明のことは、山際電気〉ではない。《舞台照明のことは、丸茂電機へ》または日本照明家協会各支部へ、チョットぴーあーる

閑話休題

分電盤が見つかりましたらまず、メイン・スイッチを見て下さい。

単相3線式ですか、単相2線式ですか、単相3線式ならば250V 100Vと書いてあるでしょう、それならば問題はありません。

問題になるのは、瀬戸物の箱にヒューズが入っているだけの、ヒューズボックスタイプの




物、最近の例では、100V20A程度のノーヒューズ・ブレーカーが入っているだけ、配線は、8mm²程度しか入っていない。こんな例が意外に多いのです。

100V20Aというと、ベビースポットライト4台で他は何に一つ使えないと言う事になってこの企画自体がつぶれてしまい、15万円も掛けたものが、何一つ使えないと言う事になり、なさけない！ことです。

電源を新しく引くのならば、舞台袖に、天井灯などと一緒に分電盤を付けて下さい。配線は38mm²メインスイッチは3P用100Aを付けて下さい。

この企画(1)では、

ベビースポットライト　8台
500W×8台＝40A
サスペンションフラットライト　8～12台
200W×12台＝24A
ストリップライト　4灯用4台
100W×4灯×4台＝16A

を使いますので、フルライトで80Aです、フルライトを使うことはないとしても、以後少しづつでも機材をふやすことを考えて最底でも2倍位のA（アンペア）が取れるようにして下さい。

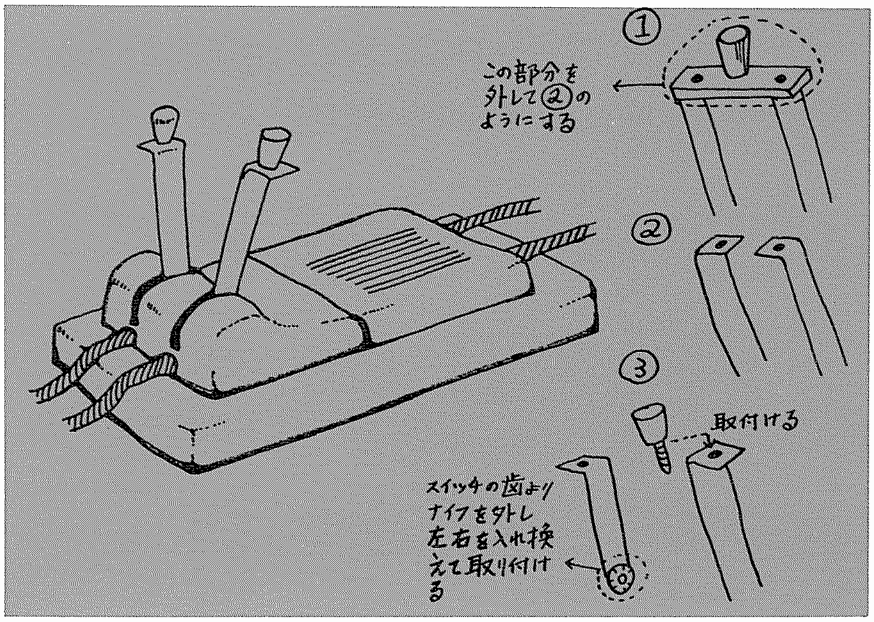
電源の確認が出来ましたら、配電盤の作り方に取り掛りましょう。

ちょっと待て！　貴方の電源が250V100A以上あるならば、貴方は、配電盤を作る必要はない、何故ならば、「マルモ・デム・パック」があるからです。これならば、FI、（フエードイン）FO、（フエードアウト）SI、（スイッチイン）SO、（スイッチアウト）など、いかようにも調光できます。

## 材　料

どうしても、作らなければならない人に

メインスイッチとして
250V　100A　2Pカバー付ナイフSW　1
調光用メインSW
250V　60A　2Pカバー付ナイフSW　1
または、100A　1PナイフSW　1
および　T型コンセント　1
個別SW
250V　30A片切SW　10
または、30A　2Pカバー付ナイフSW　5
および、ノップ
コンセント
2口用コンセント　12
または、2口用テーブルタップ　12




電線　22mm² 1.8m　5.5mm² 3m　2mm² 3m

抜、3mもの2枚、

10mm厚ベニア板60cm×90cm

ネオンランプ1　ヒートン数個

## 作　り　方

それでは、8頁配線図を見て下さい

まず、ベニア板の上にこの通りに並べて下さい。並びましたら、並らべた物の一番高い所(100Aカバースイッチのカバーの部分が一番高い所だと思いますが)が囲いの板より低くなるように廻りの板囲いを付けます。

この際、ふちとメインスイッチの間を広くあけておいて下さい、22mm²位になりますと、急角度に曲がらずに苦労の種になります。

次に各パーツの説明をしましすと、

### メインスイッチ

これは、受電のために使い、電源よりのケーブルをこれに挟み込みます。ただし、このスイッチと電源への挟み込みは、電気屋さんか、電工さんのように、電気に責任を持てる方に、結線してもらって下さい。素人がやることは危険です

また、ヒューズは、電源の定格と同じものをお使い下さい。メインスイッチの定格ではなく電源側(ただし、電源側が、このスイッチの定格より大きい時は、このメインスイッチの定格となります)と電源用のケーブルの太さに関係して来ますのでくれぐれも判断に誤りのないように。

ヒューズの代りに荷札の針金や銅線を使うなど、とんでもない話です、定格を守れないような人は、照明家になる資格はございません。

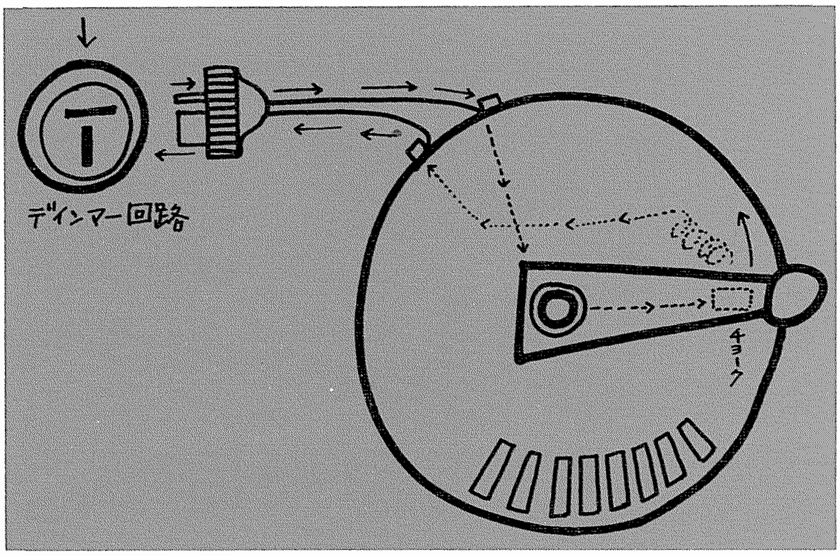
### パイロットランプ

パイロットランプは、必ず取っておきましょう。電源側から電流が来ないのに、点かない点かないと、大さわぎしないように、出来得るならば、ネオンランプかコイルランプなどを使って下さい。パイロットランプが切れていたなどは、話の種にもなりません

### 不滅用コンセント

手元ランプ、アンプリファイヤー用などに使います。また、舞台裏の明り等もここ入れて下さい。

電柱上のトランスから配線され分電盤に入ります。そこから枝線で貴方の使う電源スイッチまで配線されている訳ですが、その距離が長いと、概算で20mに一割の




割合でドロップします。分電盤から講堂のスイッチまでの距離が40mあるとして14mm²で配線してあっても、$\frac{88\times80}{100}$という事になり、8mm²と変らないという事になる。

| 絶縁電線許容電流（A） | | コードの許容電流（A） | |
|---|---|---|---|
| 2(mm²) | 27 | 0.75 | 7(mm²) |
| 3.5 | 37 | 1.25 | 12 |
| 5.5 | 49 | | |
| 8 | 61 | 2 | 17 |
| 14 | 88 | | |
| 22 | 115 | 3.5 | 23 |
| 30 | 139 | | |
| 38 | 162 | 5.5 | 35 |

前置きが長くなりましたが、このような訳で、容量が少なくない時、そのシーンには使わない電気器具のスイッチを切って、容量を確保するためと、舞台効果を上げるために、必要でない光源を切るためです。

**片切スイッチ**

これは、SI（スイッチイン）SO（スイッチアウト）などに使います。まだディマーがあれば、FI（フエードイン）FO（フエードアウト）などが出来ます。デイマーのない時は、水抵抗を使うのもいいかと思います。

ディマー

これはニクロム線抵抗器ですので長時間ですとニクロム線がヒートしますので、気を付けましょう。

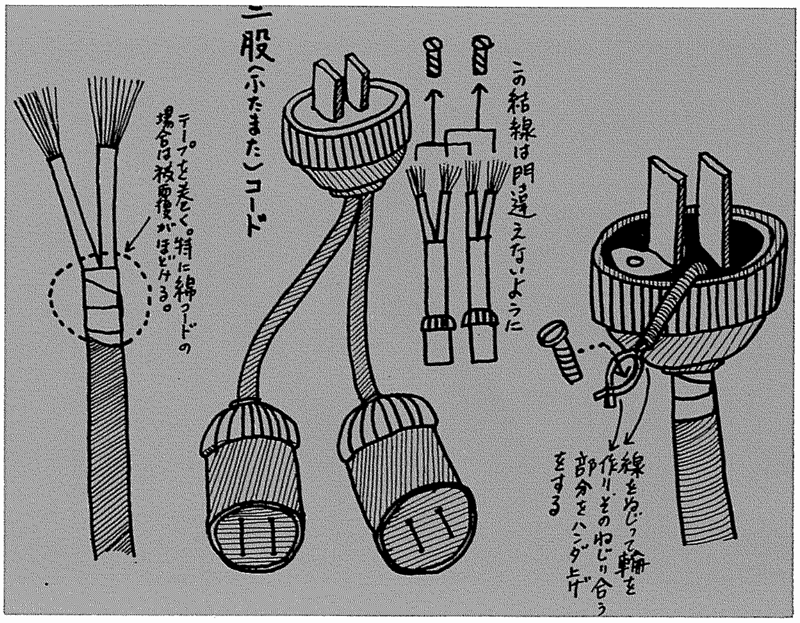
また容量が、少なすぎますと、抵抗が利かずにSIになってしまいます。（この場合電気コンロなり使わないスポットライトを使って容量に近づけて使います）ニクロム線抵抗器ですので、容量オーバーになっても短時間（30秒位）ならば使えるという利点があります。

**個別スイッチ**

片切のカバースイッチがあればよいのですが、なければ、普通の2Pのカバースイッチを図の通り左右を逆にすることによって左右の　を広げる訳です。

**配　線**

配線はメインスイッチから片切スイッチまでは22mm²、片切スイッチから、個別スイッチまでは、22mm²から、5.5mm²の枝線を出して結線して下さい。幹線と枝線との結線は、規定のように仕上げて下さい。（照明家手帳ー日本照明家協会発




行。または、電気工事手帳ーオーム社発行。をご覧下さい。）

片切スイッチからテーブルタップまでは、2mm²にて配線、メインスイッチよりテーブルタップまで（アース側）は、幹線22mm²枝線は2mm²とする。

以上で出来上りですが、一応配線を確認して下さい。テスターがあれば一応点検して下さい。電気を通しました。ドカンと言ってヒューズが飛びましたでは、困ります。100Aのヒューズですと、飛ぶ前に、ウナリを上げて、貴方の顔が真青になるなどという事がないように慎重にお願いします。

さて配電盤が出来上りました。
この配電盤は、調光装置としては、言うなればスイッチ盤でオート関係はなにもありません。

そこで、貴方の学校なり職場なりの、実験室か事務室、工場のすみなどに、巻線抵抗器（スライダック）がないかさがして下さい。最少のもので300Wか500W、最大のものならば5KWというのも見つかるかもしれません一つ徹底的に索して下さい。

たとえば、1KW2台と600W3台が見つかったとしましょう。

スライダックはまず、IN putとout putを確認してください。確認したらIN putにプラグキャップをout put にコードコネクターを付けて下さい。

附

照明器具にコードをビスで止めるには、

まずコードの被覆を取りゴム被覆線を出します。先端のゴム被覆を2cm位より線を減線しないようにむき出します。

より線を先端より2つに分け、分けたより線を一束づつひねり、より合わせましたらビスが通る位の輪が出来るようにし釘のようなものを当てて丸めて下さい）先端同志をひねって止め、それにハンダを流しバラバラにならないようにします。ハンダが固まった所で、余分な部分をペンチで切り捨てて下さい。

こうしてビスで止めれば、急にコードを引張られるようなことがあっても、ビスの所から抜けるのをふせぐことが出来ます。

また、線の末端がヒゲのように出て、コネクタ内でショートすることも防げます。

使って みませんか?

# マルモディムパック

## 劇団ろば使用例

劇団ろばの舞台照明にはマルモディムパックが使用されています
美しい照明効果を御覧下さい

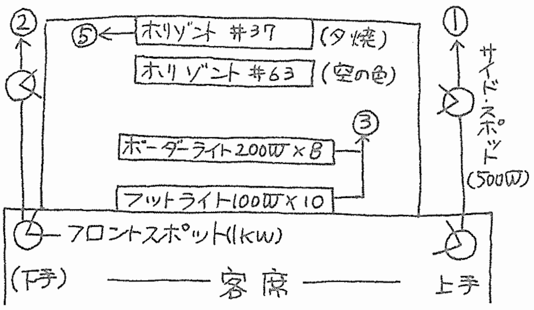
### 講堂・小ホールの舞台照明

りっぱな講堂（体育館）や小ホールはあっても内部の設備がなければ、多大な予算をかけて建設したものも用途は半減してしまいます。
「設置したいのだが、予算や機材等が良くわからない」との質問をよく受けます。そこで最低必要なものをとりあげてみました。

①暗幕（美くしい照明や観客の舞台への集中はまず暗らくする事から始まります。）
②照明材械機
　㋑スポットライト（500W４台
　（500W４台・１KW２台）
　㋺ボーダーライト
　（上から全体をてらすライト）
　㋩ホリゾントライト
　（空の色、夕焼等の照明）
　㋥フットライト
　（下から全体をてらすライト）
③調光器
　照明機材をコントロールするために絶対必要な機材です。

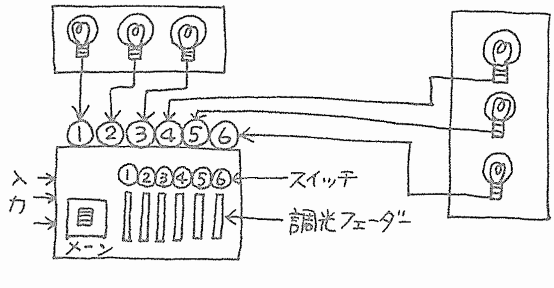
以上３点あれば、学校の講堂や、小ホールでの照明効果はまずだいじょうぶでしょう。
この中で今回は調光器（マルモディムパック）について御紹介しましょう。
**マルモディムパック**はシリコン半導体を使用したまったく新しい考え方による調光器です。
①コンパクトにまとまっているため保管が完全です。
②シリコン半導体は半永久的です。
③一台で100A・10KWまで使用できます。
④舞台照明だけでなく他の用途にも使用できます。
⑤操作面に高圧高電流等の端子が全くないため危険がありません。

（舞台照明の応用例）




①～⑤までを**マルモデイムパック**の各調光回路に接続します。６番目の回路には、特殊な照明（月光・火事）のために使用します。

（舞台照明以外の使用例）




信号機は、自作可能ですがその場合は電球の放熱に充分注意して下さい。電球は100W～60Wが適当でしょう。ゼラチンを使用する場合、青は＃56、黄＃41、赤＃26がよいでしょう。
（他にプラネタリューム等に使用できます）

専問家が、直接お答えします。

マルモ・ニュースの編集部では、かねてより本誌を通じて読者の皆さんと、より広く、より深く、交流をもちたいと考えておりましたところ、最近、読者の皆さんから、種々の質問が、編集部に寄せられるようになりましたので、本号から、新たに、誌上質問コーナーを、設けました。その第1回として、最も、お問合せの多かった「日本照明家協会とはどういう団体か？」に今回は、お答えいたします。（回答者は、日本照明家協会事務局）

今後、この質問コーナーを、レギュラー記事として、掲載して行きたいと思いますので「照明」に関することでしたらば、どんな質問でも結構ですから、どしどし編集部宛、お手紙下さい。御待ちしています。

# 日本照明家協会とはどういう団体か？

日本照明家協会事務局

**1　日本照明家協会はどういう団体か？**

――日本照明家協会は、劇場やテレビの照明に携わる人達の全国組織の団体である。

**2　設立の主旨、目的などについて**

――とりあえず、「設立趣意書」と、定款に記されている「目的」を読んでいただきます。

設立趣意書

昭和30年頃、舞台照明に対する関心が高まると共に、照明設備の充実や照明家の技術向上が強く要望される一方、照明家の多くは分散孤立の形をとっていたため、それらの要望に応えるための研究、知識の交換などについて相互間に何等の連携もなく、照明家に対する社会的評価も、必ずしも正当とは云えない実情でありました。そのような情勢に対応するため、31年10月当時舞台照明の仕事に携わる者たちが集って、照明家の技術向上と社会的地位の確立を図り、併せて相互の親睦を密にすることを目的として東京に舞台照明家協会を、続いて大阪に関西舞台照明家協会を、名古屋に中部舞台照明家協会をそれぞれ設立いたしました。

その後、各協会は相互に連絡をもちつつ独自の活動を続け、テレビジョンの普及に伴い名称をそれぞれ舞台テレビ照明家協会と改め昭和37年には、3協会が日本照明家協議会を結成して、実質的には全国一体の照明家団体として活動を続け、初期の目的に近い実績を挙げて参りました。

近年にいたり、全国各地の文化施設の充実や、海外との文化交流の頻繁などに伴い、私達照明家は、その使命の重要性を再認識し、ここに更めて全国的単一組織を設立して更に一段の技術研磨と連絡の緊密化を図り、名実

共に照明家の公共団体として強力に活動を推進し、一般社会の要望に応じると共に、日本文化の高揚発展に寄与したいと存じます。

目　　的

日本照明家協会は、舞台およびテレビの照明に関する研究、知識の交換ならびに会員相互間および関連諸団体との連絡提携の場となり、会員の技術向上により舞台テレビ照明の進歩発展を図り、もって日本文化の高揚に寄与することを目的とする。

——以上の文章は、法人申請を前提として作られたもので、なんとなくしかつめらしく感じられますが、要するにわれわれが常に考えていることやこれから実行しようとすることを文章にまとめたもので、われわれの意図するところを平たく解釈していただきたい。

**3　協会の主な仕事について**

——一般的には、目的の中に含まれている個々の問題を取り出して、それをわれわれの日常の仕事や生活に結び付けて行く事が協会の仕事だと思います。それを実施するために協会は毎年事業計画を作って目的達成に努力して行くことになります。

協会の事業としては、定款に次の項目を挙げています。

1、研修会、講演会、展覧会などの開催
2、協会誌および関連図書の刊行
3、照明に関する調査研究
4、照明の諸問題に関して内外各団体および個人との連絡
5、研究の奨励および業績の表彰
6、その他目的達成に必要な事業

**4　協会の会員構成について**

——正会員は劇場やテレビの照明に携わることを職業としている個人で、凡そ3年以上の経験を持ち、理事会の承認を得たものとなっている。その他に、これから照明の道に進もうとする人達には準会員の制度が設けられている。又協会の事業目的に賛同して後援して下さる方々には、賛助会員又は特別会員として入会していただく制度になっている。

入会手続きその他については定款および施行細則を参照してください。

**5　一般照明家と協会の関係は**

——当協会での照明家とは、舞台、テレビの照明家という意味で、一般の室内照明とか交通照明の照明に携る人達は含まれていない。

**6　文化活動諸団体との関係および文化活動の中で占める位置は**

——事業の項目にもあるように、関連諸団体との関係は、それぞれの専門分野の知識の交換、事業遂行についての協力などできるだけ緊密に連携して行かなければならない。従ってわれわれの協会も他の諸団体も、文化活動の中で占める位置に相違はないものと思う。

**7　日本照明家協会の所在地は**

——日本照明家協会
東京都渋谷区千駄谷3－51－4
〒151　電話（03）404－2611

——協会はその運営のために全国を3ツの地区に分けてそれぞれの地区が、問題の種別によって、協会の窓口となり、或は地区独自の運営によって処理するようになっている。

——日本照明家協会関西地区事務連絡
大阪市東区森の宮西三町654
大阪府立青少年会館内
木本敏夫　〒540

——日本照明家協会中部地区事務連絡
名古屋市中区新栄町4－1
第3照運寺ビル225号
ＡＰＣ内

——東京地区の事務連絡は
協会住所と同じ

## マルモで働らきませんか

**丸茂電機は** 大劇場のシステマチックな照明設備からアマチュア劇団・学校演劇の照明にいたるまで、創造活動と光の関係を追い求めて来ました。あなたのその才能をマルモと共にあすの演劇のために使ってみませんか。

職　　種　営業部員・劇場、テレビスタジオなどに照明設備をセールス
　　　　　現　　業・配電盤やスポットライトの組立
　　　　　一般事務
勤務場所　本社、東京、名古屋、大阪営業所、東京工場
待　　遇　初任給
　　　　　高校46年卒・男35,500円
　　　　　　　　　　　女34,800円

応募の詳細についてのお問い合せは、
東京都千代田区神田須田町１―24
丸茂電機株式会社 総務部 人事部
片　岡

---

舞台照明についての御相談は下記の専門店でどうぞ
照明の専門家が、丁寧に御説明致します。

**●お問い合せご商談は**

| | | |
|---|---|---|
| 東京営業所 | 東京都千代田区神田須田町１～24 | TEL (03) (252) 0321(代) |
| 名古屋営業所 | 名古屋市中区栄4丁目1―1 中日ビル | TEL (052) (261) 1111(425) |
| 大阪営業所 | 大阪市北区神山町32 | TEL ((06) (312) 1913 |

**●代理店**

| | | |
|---|---|---|
| 北電力設備工事㈱ | 札幌市南2条西12丁目 | TEL (011) (241) 3911 |
| ㈱東京舞台照明 | 東京都渋谷区千駄谷3―5 1―4 | TEL (03) (404) 2611 |
| 若尾綜合舞台研究所 | 名古屋市中区栄4丁目9―26 | TEL (052) (241) 5652 |
| 福岡市民会館サービスセンター | 福岡市天神5―1～23 | TEL (092) (75) 6474 |

**●取扱店**

| | | |
|---|---|---|
| ほりぞんとグループ | 札幌市北四条西七丁目 | TEL(011)(251) 9676 |
| 盛岡舞台綜合研究所 | 盛岡市南青山町11―14 | TEL(0196)(47) 0736 |
| ㈱東海舞台 | 静岡市泉町7―12 | TEL(0542 )(82)0907 |
| ㈱アート・サンド・センター | 名古屋市中区大須1丁目33―61 | TEL(052)(221) 1991 |
| ㈱篠本照明 | 広島市霞町4―296―15 | TEL(0822) (53)7246 |
| 四国照明サービスセンター | 徳島市中常三島町3丁目4―2 | TEL(0886)(54) 2414 |
| ユニーク・アートステージ | 大分市金池町2丁目1―25 | TEL(09752)(4)9390 |

発　行　丸茂電機株式会社
東京都千代田区神田須田町１―24
編集責任者　井上利彦
製　　作　出牛亘
デザイン・レイアウト
(不許・複製)